

歩行者や対向車の存在を事前に情報提供することにより、 交差点での見落としや発見の遅れによる事故を未然に防ぐサポートをしています。

車両・歩行者等検知情報提供技術の開発

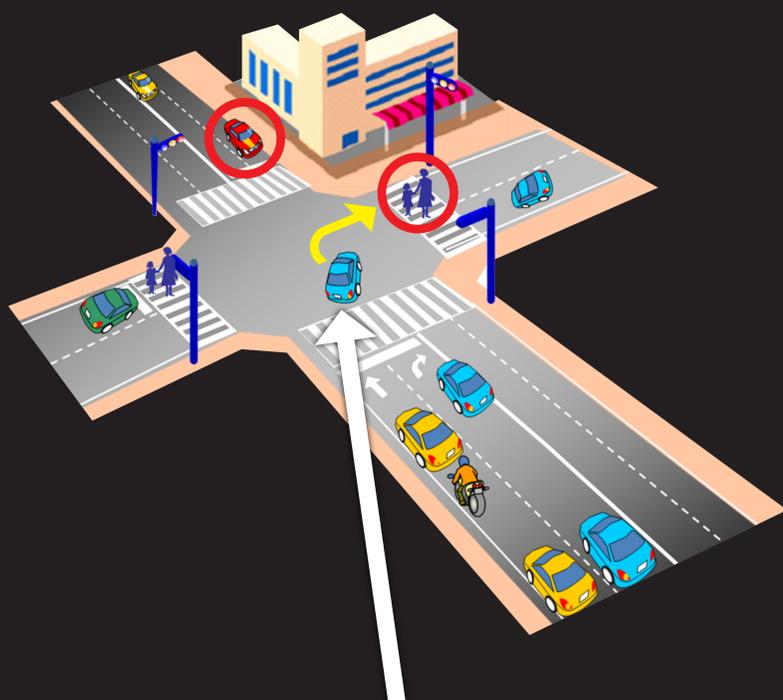
自動運転を実現するためには、見通し外の車や歩行者の存在をリアルタイムに認識することが重要です。交通事故の防止に効果的な交通情報を提供するため、センサーで収集した情報を車に提供するシステムの高度化に取り組んでいます。

概要

安全運転支援システム(DSSS)は、ドライバーからは見えにくい場所の交通状況を、路側に設置したセンサーで検知します。検知した情報を700MHz帯ITS無線路側機から車に提供し、ドライバーに対して注意喚起します。

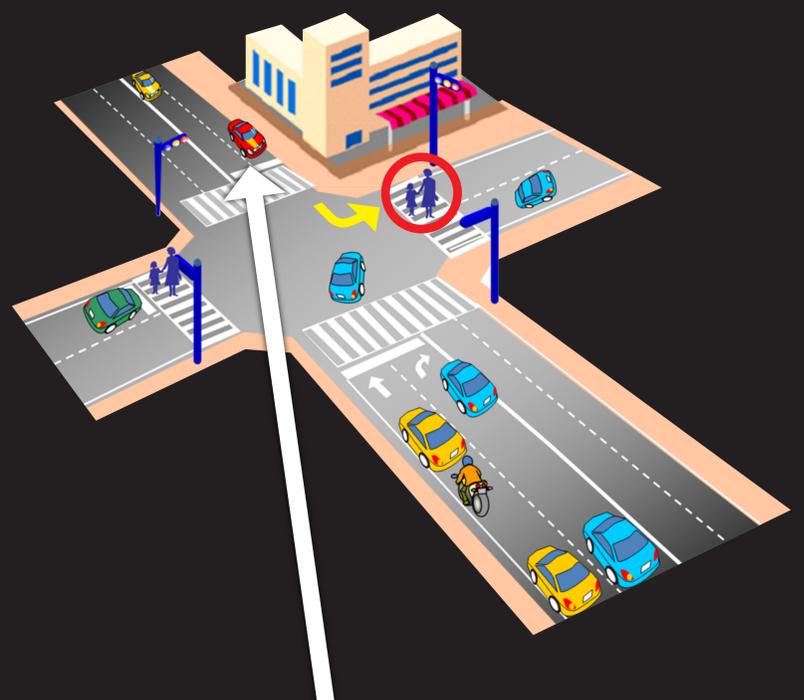
安全運転支援システム(DSSS)では、信号の見落としや右左折時の衝突、横断歩行者の見落とし等の事故を防ぐための情報を提供しています。

これまでの安全運転支援システム (DSSS)



- 右折時衝突防止支援システム
- (右折先)歩行者横断見落とし防止支援システム

追加機能 (2018年度実証実験)



- (左折先)歩行者横断見落とし防止支援システム

事故を未然に防ぐためには、右折時の対向直進車両と右左折時の横断歩道歩行者を検知する必要性が高いことから、2018年度には、左折先の歩行者横断の見落とし防止を支援する機能を追加したシステムによる実証実験を行いました。

今後とも、自動車メーカー等のニーズを踏まえつつ、自動運転社会を支援する路側インフラに係る更なる研究に取り組むこととしています。